

令和7年7月17日 公告

夢洲2区（南西部ほか）土地造成工事

明細書、特記仕様書及び積算基準関係書類（代価公表資料）の一部に記載誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

訂正箇所	誤	正
明細書 第1-5号明細書 プラスチックボードドレン工 先行削孔(2)	クローラ式アースオーガ、 φ <u>300</u> ×3000	クローラ式アースオーガ、 φ <u>350</u> ×3000
特記仕様書 第2項 1.土工 2)	地盤の状態によって泥上車の使用が必要と認められる場合は、事前に監督職員と協議し、承諾を得ること。	削除
積算基準関係書類 第1-5号明細書 プラスチックボードドレン工 先行削孔(2)	クローラ式アースオーガ、 φ <u>300</u> ×3000	クローラ式アースオーガ、 φ <u>350</u> ×3000
積算基準関係書類 第22号代価表 プラスチックボードドレン工 先行削孔(2)	クローラ式アースオーガ、 φ <u>300</u> ×3000	クローラ式アースオーガ、 φ <u>350</u> ×3000
積算基準関係書類 第68号代価表 土砂運搬工 不整地運搬車 賃料	クローラ型 <u>クレーン装置付</u> 積載質量4t	クローラ型 <u>油圧ダンプ式</u> 、 積載質量4t



明細書

(8700)

第 1ー 5号明細書

プラスチックボードドレーン工

種別	細別	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	摘要
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(1)	油圧式アースオーガ、φ300×3000mm、先端1.0m、スクリュー2.0mバックハウ山積0.28m ³	本				
				6,301			
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(2)	クローラ式アースオーガ、φ300×3000mm	本				
				26,771			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				16,708			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(2)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				7,819			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(3)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				5,288			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(4)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				3,257			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				3,150			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(2)	打込長24.2m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				15,764			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(3)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				859			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(4)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				19,652			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(5)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				63			





明細書

(8700)

第 1ー 5号明細書

プラスチックボードドレーン工

種別	細別	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	摘要
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(1)	油圧式アースオーガ、φ300×3000mm、先端1.0m、スクリュー2.0mバックハウ山積0.28m ³	本				
				6,301			
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(2)	クローラ式アースオーガ、φ350×3000mm	本				
				26,771			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				16,708			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(2)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				7,819			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(3)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				5,288			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(4)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				
				3,257			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				3,150			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(2)	打込長24.2m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				15,764			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(3)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				859			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(4)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				19,652			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(5)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックハウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				
				63			





特記仕様書

特 記 仕 様 書

第 1 項 総 則

1 一般事項

「大阪港港湾工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）並びに、「大阪港港湾業務委託共通仕様書」（以下「業務委託共通仕様書」という。）の入手方法については、大阪港湾局ホームページ「設計図書（仕様書）等の入手方法について」

(<https://www.city.osaka.lg.jp/port/page/0000087705.html>) を参照すること。

なお、本工事施工に関する材料、施工方法、施工管理基準等については、本市建設局「工事請負共通仕様書（道路・河川土木工事編）」（令和3年3月及び令和5年9月一部改訂 大阪市建設局）を適用するものとし、共通仕様書の入手方法については、本市建設局ホームページ「設計図書（仕様書）等の入手方法等について」

(<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000018864.html>) を参照すること。

第 2 項 工 事

1. 土工

- 1) 沈殿池の施工に先立ち、事前測量を実施し、監督職員に報告すること。その結果、DL+6.0m付近を目安とし、それ以上の高さの範囲については掘削を行い、施工範囲のなるべく地盤の低い場所へ投入し、均一な高さとなるように不陸整正を行うこと。なお、詳細な位置については、監督職員の承諾を得ることとし、測量結果に基づき設計変更を行うことがある。
- 2) 地盤の状態によって泥上車の使用が必要と認められる場合は、事前に監督職員と協議し、承諾を得ること。

2. 表層混合処理工

- 1) 工事着手前に現状の地盤高さの深浅測量（測線間隔 10m）を行い、その資料を監督職員に提出すること。
- 2) 施工にあたっては事前に施工方法、使用機械等固化処理全般にわたる詳細な施工計画書を監督職員に提出すること。
- 3) 表層混合処理工に使用する固化剤は、JIS R 5211 高炉セメント（B種）同等以上とする。
- 4) 改良対象地盤 1m³ 当りの固化材の配合は下記を標準とするが、配合試験の結果によっては配合を変更することがある。配合の決定に当たっては、事前に監督職員と協議し、承諾を得ること。また、改良厚さは 1.5m とするが、電気式コーン貫入試験結果及び施工時の現場状況等により変更することがある。

また、海水は H 護岸から取水することを想定しているが、配管の一部は通路上に設けるため養生を行うとともに事前に監督職員と協議し、承諾を得ること。

設計配合(当初想定)		設計基準強度（材令 28 日）
固化セメント	100kg/m ³	150kN/m ² 以上
海水	100kg/m ³	



特記仕様書

特記仕様書

第1項 総則

1 一般事項

「大阪港港湾工事共通仕様書」（以下「共通仕様書」という。）並びに、「大阪港港湾業務委託共通仕様書」（以下「業務委託共通仕様書」という。）の入手方法については、大阪港湾局ホームページ「設計図書（仕様書）等の入手方法について」

<https://www.city.osaka.lg.jp/port/page/0000087705.html> を参照すること。

なお、本工事施工に関する材料、施工方法、施工管理基準等については、本市建設局「工事請負共通仕様書（道路・河川土木工事編）」（令和3年3月及び令和5年9月一部改訂 大阪市建設局）を適用するものとし、共通仕様書の入手方法については、本市建設局ホームページ「設計図書（仕様書）等の入手方法等について」

<https://www.city.osaka.lg.jp/kensetsu/page/0000018864.html> を参照すること。

第2項 工事

1. 土工

- 1) 沈殿池の施工に先立ち、事前測量を実施し、監督職員に報告すること。その結果、DL+6.0m付近を目安とし、それ以上の高さの範囲については掘削を行い、施工範囲のなるべく地盤の低い場所へ投入し、均一な高さとなるように不陸整正を行うこと。なお、詳細な位置については、監督職員の承諾を得ることとし、測量結果に基づき設計変更を行うことがある。

2. 表層混合処理工

- 1) 工事着手前に現状の地盤高さの深淺測量（測線間隔 10m）を行い、その資料を監督職員に提出すること。
- 2) 施工にあたっては事前に施工方法、使用機械等固化処理全般にわたる詳細な施工計画書を監督職員に提出すること。
- 3) 表層混合処理工に使用する固化剤は、JIS R 5211 高炉セメント（B種）同等以上とする。
- 4) 改良対象地盤 1m³ 当りの固化材の配合は下記を標準とするが、配合試験の結果によっては配合を変更することがある。配合の決定に当たっては、事前に監督職員と協議し、承諾を得ること。また、改良厚さは 1.5m とするが、電気式コーン貫入試験結果及び施工時の現場状況等により変更することがある。

また、海水は H 護岸から取水することを想定しているが、配管の一部は通路上に設けるため養生を行うとともに事前に監督職員と協議し、承諾を得ること。

設計配合(当初想定)		設計基準強度 (材令 28 日)
固化セメント	100kg/m ³	150kN/m ² 以上
海水	100kg/m ³	

- 5) 表層混合処理工(1)の範囲は泥上車の使用が必要と認められる範囲とし、それ以外の範囲を表層混合処理工(2)の範囲とする。なお、その区域については事前に監督職員の承諾を得ること。地盤の状態によっては設計変更の対象とすることがある。



積算基準関係書類(代価公表資料)

(8700)

第 1ー 5号明細書

プラスチックボードドレーン工

種別	細別	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	摘要
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(1)	油圧式アースオーガ、φ300×3000mm、先端1.0m、スクリュウ2.0mバックホウ山積0.28m ³	本				代- 21号
				6,301			
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(2)	クローラ式アースオーガ、φ300×3000mm	本				代- 22号
				26,771			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 23号
				16,708			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(2)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 24号
				7,819			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(3)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 25号
				5,288			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(4)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 26号
				3,257			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 27号
				3,150			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(2)	打込長24.2m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 28号
				15,764			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(3)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 29号
				859			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(4)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 30号
				19,652			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(5)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 31号
				63			





積算基準関係書類(代価公表資料)

(8700)

第 1ー 5号明細書

プラスチックボードドレーン工

種別	細別	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	摘要
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(1)	油圧式アースオーガ、φ300×3000mm、先端1.0m、スクリュー2.0mバックホウ山積0.28m3	本				代- 21号
				6,301			
プラスチックボードドレーン工	先行削孔(2)	クローラ式アースオーガ、φ350×3000mm	本				代- 22号
				26,771			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 23号
				16,708			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(2)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 24号
				7,819			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(3)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 25号
				5,288			
プラスチックボードドレーン工	PVD工(4)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用	本				代- 26号
				3,257			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(1)	打込長24.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 27号
				3,150			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(2)	打込長24.2m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 28号
				15,764			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(3)	打込長23.7m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 29号
				859			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(4)	打込長23.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 30号
				19,652			
プラスチックボードドレーン工	PBD工(5)	打込長17.6m、ドレーン材φ8cm、先端アンカーφ8cm用、バックホウ(クレーン機能付)、ウォータージェット使用なし	本				代- 31号
				63			





積算基準関係書類(代価公表資料)

(8700)

1位代価表

第 22号代価表

種 別：プラスチックボードドレーン工

細 別：先行削孔(2)

形状寸法：クローラ式アースオーガ、φ 300×3000mm

10 本 当り

名称	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	摘要
土木一般世話役		人	1			
とび工		人	2			
特殊作業員		人	1			
普通作業員		人	1			
クローラ式アースオーガ	本体損料、軽油および運転手(特殊)含む	日	1			
諸雑費		式	1			上記計の10%
計						
単価						円/本





積算基準関係書類(代価公表資料)

(8700)

1位代価表

第 22号代価表

種 別：プラスチックボードドレーン工

細 別：先行削孔(2)

形状寸法：クローラ式アースオーガ、φ350×3000mm

10 本 当り

名称	形状寸法*積算要素	単位	数量	単価	金額	摘 要
土木一般世話役		人	1			
とび工		人	2			
特殊作業員		人	1			
普通作業員		人	1			
クローラ式アースオーガ	本体損料、軽油および運転手(特殊)含む	日	1			
諸雑費		式	1			上記計の10%
計						
単価						円/本



